

昭和十五年一月

特殊事業會社債發行限度調
附 社債權者保護ノ態様ヨリ見タル商法制限外
社債發行可能ノ特殊會社ノ分類

内閣東北局

目次

一、東洋拓殖株式會社	一頁
(十五倍)	
二、日本硫安株式會社	二頁
(五倍)	
三、帝國鐵業開發株式會社	三頁
四、日本産金振興株式會社	四頁
五、東北興業株式會社	六頁
六、北支那開發株式會社	八頁
七、中支那振興株式會社	九頁
(三倍)	
八、日本發達鐵道株式會社	一〇頁
九、國際電氣通信株式會社	一一頁
一〇、帝國燃料興業株式會社	一二頁

一、臺灣拓殖株式會社	一三頁
二、鮮滿拓殖株式會社	一五頁
三、南洋拓殖株式會社	一六頁
(二倍)	
四、南滿洲鐵道株式會社	一八頁
五、大日本航空株式會社	一八頁
六、電氣事業會社其ノ他	一九頁

附

社債権者保護ノ態樣ヨリ見タル商法制限外	
社債發行可能ノ特殊會社ノ分類	二一

一、東洋拓殖株式會社、東洋拓殖株式會社法

○資本金（第二條）

一千萬圓（但シ現在ハ増資ニ因リ五千萬圓）

○事業（第一條及第十一條乃至第二十二條ノ二）

- (一) 拓殖（内地以外）ノ爲必要ナル資金ノ供給
- (二) 拓殖ノ爲必要ナル農業、水利事業及土地ノ取得、經營、處分
- (三) 拓殖ノ爲必要ナル移住民ノ募集及分配
- (四) 移住民ノ爲必要ナル建築物ノ築造、賣買及貸借
- (五) 移住民又ハ農業者ニ對シ拓殖ノ爲必要ナル物品ノ供給及其ノ生産シタル物品ノ分配
- (六) 委託ニ因ル土地ノ經營及管理
- (七) 其ノ他拓殖ノ爲必要ナル事業ノ經營

○社債（第二十三條乃至第三十條）

發行限度 拂込資本額ノ十五倍

發行上ノ特典 (一) 商法第一九九條（社債ハ第二百九條ニ定メタル決議ニ依ルニ非サレハ之ヲ募集スルコトヲ得ス）及

第二〇〇條ノ二（會社ハ前ニ募集シタル社債總額ノ拂込ヲ爲シタル後ニ非サレハ更ニ社債ヲ募集スルコトヲ得ス）ノ規定ノ適用ヲ受ケズ

(二) 本債券ヲ發行スル場合ニハ數回ニ分チ拂込ヲ爲サシムルコトヲ得

所有者特權 本債券ノ所有者ハ當會社ノ財産ニ付他ノ債權者ニ先

チテ自己ノ債權ノ辨濟ヲ受クル權利ヲ有ス

借換ノ場合 一時拂込株金額ノ十五倍ヲ超ユルコトヲ得

三、日本硫酸株式會社（硫酸アンモニア増産及配給統制法

○資本金（第十三條）

一千萬圓

○專 業（第十八條）

- （一）硫安ノ買入及販賣
- （二）硫安ノ輸出、輸入、移出及移入
- （三）硫安ノ製造其ノ他硫安ノ供給確保上必要ナル事業
- （四）其ノ他硫安ノ需給ノ円滑及價格ノ公正ヲ圖ル爲必要ナル事業

○社 債：硫安債券（第十九條乃至第二十四條）

- 發行 限度 拂込株金額ノ五倍
- 發行 決議 商法第二〇九條ニ定ムル決議ニ依ルコトヲ要セズ
- 政府 保證 政府ハ硫安債券ノ元本ノ償還及利息ノ支拂ニ付保證スルコトヲ得
- 所有者特權 硫安債券ノ所有者ハ當社ノ財産ニ付他ノ債券者ニ先チテ自己ノ債券ノ辨済ヲ受クル權利ヲ有ス
- 借換ノ場合 一時拂込株金額ノ五倍ヲ超エ得ル

三、帝國鐵業開發株式會社：帝國鐵業開發株式會社法

○資 本 金（第三條）

三千萬圓（內政府出資千五百萬圓）

○事 業（第十一條）

- （一）重要鐵物（金、鐵及砂金ヲ除ク）ヲ目的トスル鐵業
- （二）重要鐵物ニ關スル鐵床ノ調査
- （三）重要鐵物ヲ目的トスル鐵業ニ對スル技術指導
- （四）重要鐵物ノ賣買又ハ其ノ斡旋
- （五）重要鐵物ヲ目的トスル鐵業又ハ製鍊業ノ爲必要ナル器具機械材
料等ノ賣買
- （六）重要鐵物ヲ目的トスル鐵業又ハ製鍊業ニ對スル資金ノ融通又ハ
投資

○社 債：鐵業開發債券（第十三條乃至第十八條）

發行 限度 拂込株金額ノ五倍

發行決議 資本ノ半額以上ニ當ル株主出席シ其ノ議決權ノ過半

數ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

政府保證 政府ハ本債券ノ元利支拂ニ付保證スルコトヲ得

所有者特權 本債券ノ所有者ハ當社ノ財産ニ付他ノ債權者ニ先チ

テ自己ノ債權ノ辨濟ヲ受クル權利ヲ有ス

借換ノ場合 一時拂込株金額ノ五倍ヲ超ユルコトヲ得

四日本産金振興株式会社ニ日本産金振興株式会社法

○資本金（第三條）

五千萬圓（内政府出資二千五百萬圓）

○事業（第十二條）

（一）金銀業者、金製鍊業者又ハ金銀業、金製鍊業ノ用ニ供スル器具

機械類製造業者ニ對スル資金ノ融通又ハ投資

（二）金銀業又ハ金製鍊業

（三）金銀業又ハ金製鍊業ノ爲必要ナル器具機械、材料等ノ賣買

（四）金銀産物ノ賣買

（五）委託ニ依ル金銀山ニ關スル調査又ハ鑑定

○社債（第十四條乃至第十九條）

發行限度 拂込株金額ノ五倍

發行決議 商法第二〇九條ニ定ムル特別決議ニ依ルコトヲ得

ズ

政府保證 政府ハ本債券ノ元利支拂ニ付保證スルコトヲ得

所有者特權 本債券ノ所有者ハ當社ノ財産ニ付他ノ債權者ニ先チ

テ自己ノ債權ノ辨濟ヲ受クル權利ヲ有ス

借換ノ場合 一時拂込株金額ノ五倍ヲ超ユルコトヲ得

五東北興業株式会社ニ東北興業株式会社法

○資本金（第二條）

三千萬圓

○事 業（第十條）

左ノ事業ノ經營又ハ之ニ對スル投資

(一) 肥料工業其ノ他電氣化學工業

(二) 水産及礦産ノ資源開發事業

(三) 水面埋立事業

(四) 農村工業

(五) 其ノ他東北 權限ニ關スル事業

○社 債 東北興業債券（第十一條乃至第十五條）

發行限度 拂込株金額ノ五倍

發行決議 商法第二百九條ニ定ムル決議ニ依ルコトヲ要セズ

所有者特權 當社ノ財産ニ付他ノ債權者ニ先チテ自己ノ債權ノ辨

濟ヲ受クル權利ヲ有ス

借換ノ場合 一時拂込株金額ノ五倍ヲ超ユルコトヲ得

六 北支那開發株式會社 北支那開發株式會社法

○資 本 金（第二條及第三條）

三億五千萬圓（內政府出資一億七千五百萬圓）

○事 業（第十四條）

左ノ事業ニ對スル投資又ハ融資

(一) 交通、運輸及港灣ニ關スル事業

(二) 通信ニ關スル事業

(三) 發送電ニ關スル事業

(四) 礦産ニ關スル事業

(五) 鹽ノ製造、販賣及利用ニ關スル事業

內其ノ他北支那ニ於ケル經濟開發ヲ促進スル爲特ニ統合調整ヲ必

要トスル事業

○社 債 北支開發債券（第十五條乃至第十八條）

發行限度 拂込株金額ノ五倍

發行決議 商法第二〇九條ニ定ムル決議ニ依ルコトヲ要セズ
 政府保證 政府ハ本債券ノ元利支拂ニ付保證スルコトヲ得
 所有者特權 當社ノ財産ニ付他ノ債權者ニ先チテ自己ノ債權ノ辨
 濟ヲ受クル權利ヲ有ス
 借換ノ場合 一時拂込株金額ノ五倍ヲ超エテ債券ヲ發行スルコト
 ヲ得

七 中支那振興株式會社 中支那振興株式會社法

○資 本 金 (第二條及第三條)

一億圓 (内政府出資五千萬圓)

○事 業 (第十二條)

左ノ事業ニ對スル投資又ハ融資 (但シ特別ノ事情アルトキハ自營
 スルコトヲ得)

(一) 交通及運輸ニ關スル事業

(二) 通信ニ關スル事業

(三) 電氣、瓦斯及水道ニ關スル事業

(四) 鑛産ニ關スル事業

(五) 水産ニ關スル事業

(六) 其ノ他中支ニ於ケル公共ノ利益又ハ産業ノ振興ノ爲必要ナル事
 業

○社 債 中支振興債券 (第十三條乃至第十六條)

發行限度 拂込株金額ノ五倍

發行決議 商法第二〇九號ニ定ムル決議ニ依ルコトヲ要セズ

政府保證 政府ハ本債券ノ元利支拂ニ付保證スルコトヲ得

所有者特權 當社ノ財産ニ付他ノ債權者ニ先チテ自己ノ債權ノ辨
 濟ヲ受クル權利ヲ有ス

借換ノ場合 一時拂込株金額ノ五倍ヲ超ユルコトヲ得

八 日本發送電株式會社 日本發送電株式會社法

○資本金（定款第三條）

二百三十九萬三千一百四

○事業（第一條 尚第二十三條乃至第二十八條参照）

電力設備及其ノ附屬設備ヲ爲シ政府ノ管理スル發電及送電ヲ行フ

○社債（第二十九條）

募集限度 拂込金額ノ三倍

九國際電氣通信株式會社ニ國際電氣通信株式會社法

○資本金（第四條）

二千萬（但シ現在ハ増資ニ因リ二千五百萬圓ニシテ内政府出資二百三十萬圓）

○事業（第一條及第二條）

(一) 政府ノ用ニ供スベキ國際電氣通信設備及其ノ附屬設備ノ建設

(二) 左ノ事業ノ經營

1、外國ニ於ケル電氣通信事業ノ經營

2、外國ニ於ケル電氣通信ノ設備及其ノ附屬設備ノ貸付

3、電氣通信ノ設備及其ノ附屬設備ノ建設及保守ノ請負

4、電氣通信ノ用品ノ製造及販賣

5、前四號ニ掲グル事業ニ對スル投資

○社債（第八條ノ二及第八條ノ三）

募集限度 拂込株金額ノ三倍

募集決議 資本ノ半額以上ニ當ル株主出席シ其ノ議決權ノ過半

數ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

政府保證 政府ハ社債ノ元利支拂ニ付保證スルコトヲ得

一〇、帝國燃料興業株式會社ニ帝國燃料興業株式會社法

○資本金（第二條）

一億圓（内政府出資五千萬圓）

○事業（第十二條）

- (一) 人造石油製造事業ニ對スル投資
- (二) 人造石油ノ製造又ハ販賣

○社 債：燃料工業債券（第十三條乃至第十八條）

發行限 度 拂込株金額ノ三倍

發行決議 商法第二〇九條ニ定ムル決議ニ依ルコトヲ要セズ
政府保證 政府ハ本債券ノ元利支拂ニ付保證スルコトヲ得
所有者特權 當社ノ財産ニ付他ノ債權者ニ先チテ自己ノ債權ノ
辨濟ヲ受クル權利ヲ有ス

借換ノ場合 一時拂込株金額ノ三倍ヲ超エテ發行スルコトヲ得

一、臺灣拓殖株式會社ニ臺灣拓殖株式會社法

○資 本 金（第二條及第三條）

三千萬圓（内政府出資一千五百萬圓）

○事 業（第一條及同法施行令第五條）

(一) 拓殖ノ爲必要ナル農業、林業、水産業及水利事業

(二) 拓殖ノ爲必要ナル土地ノ取得、經營及處分

(三) 委託ニ依ル土地ノ經營及管理

(四) 拓殖ノ爲必要ナル移民事業

(五) 農業者、漁業者若ハ移民ニ對シ拓殖上必要ナル物品ノ供給又ハ

其ノ生産品ノ買取、加工若ハ販賣

(六) 拓殖ノ爲必要ナル資金ノ供給

(七) 前各號ニ附帶スル事業

(八) 其ノ他拓殖ノ爲必要ナル事業

○社 債：臺灣拓殖債券（第七條乃至第八條）

發行限 度 拂込株金額ノ三倍

發行決議 商法第二〇九條ニ定ムル決議ニ依ルコトヲ要セズ
所有者特權 本債券ノ所有者ハ當社ノ財産ニ付他ノ債權者ニ先チ
テ自己ノ債券ノ辨濟ヲ受クル權利ヲ有ス

一三、鮮滿拓殖株式會社

○資本金（第二條）
二千萬元

○專業（第一條及第十條）

（一）西北鮮ニ於ケル朝鮮人移住者ノ爲必要ナル土地ノ取得、經營及處分

（二）西北鮮ニ於ケル朝鮮人移住者ノ爲必要ナル資金ノ貸付

（三）西北鮮ニ於ケル朝鮮人移住者ノ爲必要ナル建築物ノ築造、賣買及貸借

（四）西北鮮ニ於ケル朝鮮人移住者ノ爲必要ナル土地ノ委託ニ依ル經營及管理

（五）其ノ他西北鮮ニ於ケル朝鮮人移住者ノ爲必要ナル事業

（六）滿洲國ニ於ケル朝鮮人移住者ノ爲必要ナル拓殖事業ヲ營ムコト

○社

ヲ目的トスル會社ノ株式ノ引受及事業資金ノ貸付

債ニ鮮滿拓殖債券（第十三條乃至第二十二條）

發行限度 拂込株金額ノ三倍

發行上ノ特典（一）商法第二〇九條ニ定ムル決議ニ依ルコトヲ要セズ

（二）應募總額ガ社債申込證ニ記載シタル社債總額ニ達

セザルトキト雖モ社債ヲ成立セシムル旨ヲ社債申

込證ニ記載シタルトキハ其ノ應募總額ヲ以テ社債

總額トス

（三）券面額ハ十四迄下ルコトヲ得亦二十圓以下ノ券面

額ノ場合ハ賣出ノ方法ニ依ルコトヲ得

所有者特權 本債券ノ所有者ハ當社ノ財産ニ付他ノ債權者ニ先チ

テ自己ノ債權ノ辨濟ヲ受クル權利ヲ有ス

借換ノ場合 一時拂込株金額ノ三倍ヲ超ユルコトヲ得

一三、南洋拓殖株式會社

○資本金（第二條）

二千萬元

○事業（第一條及第九條）

（一）拓殖ノ爲必要ナル農業、水産業、鑛業及海運業

（二）拓殖ノ爲必要ナル移民事業

（三）拓殖ノ爲必要ナル土地ノ取得、經營及處分

（四）委託ニ依ル土地ノ經營及管理

（五）農業者、漁業者若ハ移民ニ對シ拓殖上必要ナル物品ノ供給又ハ

其ノ生産品ノ買取、加工若ハ販賣

（六）拓殖ノ爲必要ナル資金ノ供給

（七）其ノ他附帶事業

○社 債 南洋拓殖債券（第十二條乃至第十四條）

發行限度 拂込株金額ノ三倍

發行決議 商法第二〇九條ニ定ムル決議ニ依ルコトヲ要セズ

所有者特權 勞社ノ財産ニ付他ノ債權者ニ先チテ自己ノ債權ノ辨

濟チ受クル權利チ有ス

一 南洋拓殖鐵道株式會社（明治三十九年勅令第四百四十二號）

○資本金

八億圓（内政府出資四億圓）

○事業（第一條）

滿洲地方ニ於ケル鐵道運輸業

○社 債（第十一條ノ三）

募集限度 拂込株金額ノ二倍

一 大日本航空株式會社、大日本航空株式會社法

○資本金（第三條及第四條）

一億圓（内政府出資三千七百二十五萬圓）

○專業（第一條及第十二條）

（一）航空輸送事業ノ經營

（二）航空輸送事業調整ノ爲ニスル投資、融通及助成

○社債（第二十八條）

募集限度 拂込株金額ノ二倍

政府保證 政府ハ本社債ノ元利支拂ニ付保證スルコトヲ得

一六電氣事業會社其ノ他

○電氣事業法（昭和六四ニ法律第六一號）

第十九條 第一條第一號又ハ第三號ノ電氣事業會社ハ主務大臣ノ認

可ヲ受ケ其ノ事業ニ屬スル電氣工作物施設ノ費用ニ充ツル爲商法

第二百條ノ規定ニ依ル制限ヲ超エテ社債ヲ募集スルコトヲ得但シ

社債ノ總額ハ拂込ミタル株金額ノ二倍ヲ超ユルコトヲ得ズ

最終ノ貸借對照表ニ依リ會社ニ現存スル財産ガ拂込ミタル株金額

ニ滿タザルトキハ前項ノ規定ヲ適用セズ

第一項ノ規定ニ依リ募集スル社債ニ付テハ工場抵當法ニ依リ會社

ノ事業ニ屬スルモノヲ抵當ト爲スコトヲ要ス但シ特別ノ事情アル

場合ニ於テ主務大臣其ノ必要ナシト認メタルトキハ此ノ限ニ在ラ

ズ

右ト全ク同一ノ規定ヲ含ムモノニ左ノ諸法律アリ

○自動車製造事業法（昭和一一、五、二九法律第三三號）第十條

○人造石油製造事業法（昭和一二、八、一〇法律第五二號）第十二條

○工作機械製造事業法（昭和一三、三、三〇法律第四〇號）第十四條

○航空機製造事業法（昭和一三、三、三〇法律第四一號）第十四條

○硫酸アンモニア増産及配給統制法（昭和一三、四、二法律第七〇號）第七條

○造船事業法（昭和一四、四、五法律第七〇號）第八條

○輕金屬製造事業法（昭和一四、五、一法律第八八號）第十三條

附

社債種者保護ノ證據ヨリ見タル商法調限外
社債發行可能ノ特殊會社ノ分類

一、最終ノ貸借對照表ニ依リ會社ニ現在スル財産ガ拂込株金額ニ滿タザ
ル場合ヲ除キ商法ノ制限ヲ超エ「拂込株金額ノ二倍」マテ社債ヲ發
行シ得ルモノトシ、社債種者保護トシテハ(1)社債發行ニ付「政府ノ
認可」ヲ必要トシ(2)且原則トシテハ「主務大臣ガ其ノ必要ナシト認
メタルトキハ此ノ限デナイ」工場抵當法ニ依リ會社ノ事業ニ屬ス
ルモノヲ抵當トスルコト「ヲ要ストサレタモノ

電氣事業會社(電氣事業法一九條)

自動車製造會社(自動車製造事業法一〇條)

人造石油製造會社(人造石油製造事業法一二條)

工作機械製造會社(工作機械製造事業法一四條)

航空機製造會社(航空機製造事業法一四條)

硫酸アンモニア製造會社(硫酸アンモニア増産及配給統制法七條)

造船會社(造船事業法八條)

輕金屬製造會社(輕金屬製造事業法一三條)

三、(A)「拂込株金額ノ三倍又ハ五倍若ハ十五倍」ヲ限リ社債ヲ發行シ得
ルモノトシ、社債種者ノ保護ハ(1)社債種者ニ他ノ債種者ニ優先シ
テ會社ノ財産カラ辨濟ヲ受ケ得ル權利即チ「優先辨濟權」ヲ與ヘ
ルコトト(2)社債發行ニ付テ「政府ノ認可」ニ之ヲ期待シテ居ル
モノ

三 倍

臺灣拓殖株式會社(臺灣拓殖株式會社法七條、八條、一一條)

南洋拓殖株式會社(南洋拓殖株式會社令一二條、一三條、一四條)

鮮滿拓殖株式會社(鮮滿拓殖株式會社令一三條、一四條、一八條)

五 倍

東北口業株式會社(東北口業株式會社法一一條、一二條、一四條)

十五倍

東洋拓殖株式會社 (東洋拓殖株式會社法二三條、二四條、二七條)

(B) 「拂込株金額ノ三倍又ハ五倍」ヲ限ツテ社債ヲ發行シ得ルモノトシ、社債權者ノ保護ニ關シテハ之ニ會社財產ニ付テノ「優先辨濟權」ヲ與ヘルコト及ビ間接ニハ社債發行ニ付テノ「政府ノ認可」ニ之ヲ期待スルコトニ於テハ前記(A)ノ場合ト異ラマカ、此ノ外更ニ社債權者ノ經濟的利益確保ノ爲「政府ニ於テ社債元本ノ償還及利息ノ支拂ニ付保證ヲナシ得ル」モノトシタルモノ

三倍

帝國燃料興業株式會社 (帝國燃料興業株式會社法一三條、一四條、一五條、一七條)

五倍

日本產金振興株式會社 (日本產金振興株式會社法一四條、一五條、一六條、一八條)

日本硫安株式會社 (硫安アンモニア増産及配給統制法一九條、二〇條、二一條、二三條)

帝國鐵業開發株式會社 (帝國鐵業開發株式會社法一三條、一四條、一五條、一七條)

中支那振興株式會社 (中支那振興株式會社法一三條、一四條、一五條、一六條)

北支那開發株式會社 (北支那開發株式會社法一五條、一六條、一七條、一八條)

三、(A) 「拂込株金額ノ三倍又ハ五倍」ヲ限リ社債ヲ發行シ得ベク唯其ノ社債發行ニハ「政府ノ認可」ヲ要ストスルモノ

二倍

南滿洲鐵道株式會社 (明治三九年勅令第一四二號一一條ノ三、認可ニ付テハ滿鐵設立ニ關スル命令書一八條)

三倍

日本發送電株式會社 (日本發送電株式會社法三〇條、三四條)

(B) 「株金拂込額ノ二倍又ハ三倍」ヲ限リ社債ヲ發行シ得ルモノトシ、社債權者ノ保護トシテハ單ニ社債發行ニ付テノ「政府ノ認可」ニ之ヲ期待スルコトニ於テハ前記(A)ノ場合ト異ラマカ此ノ外更ニ社債權者ノ經濟的利益確保ノ爲「政府ニ於テ社債元本ノ償還及利息ノ支拂ニ付保證ヲナシ得ル」トシタルモノ

二倍

大日本航空株式會社（大日本航空株式會社法一六條、二八條、二九條）

三倍

國際電氣通信株式會社（國際電氣通信株式會社法八條ノ二、八條ノ三、一二條ノ四）

「拂込株金額ノ十倍又ハ十五倍」ヲ限リ社債ヲ發行シ得ルモノトシ
社債權者ノ保護トシテハ（1）其ノ所謂「見返擔保」トナルベキ既存ノ
貸付金ヲ必要トシ（2）且社債發行ニ付「政府ノ認可」ヲ要スルモノ
十 倍

日本興業銀行（日本興業銀行法一二條、一四條）

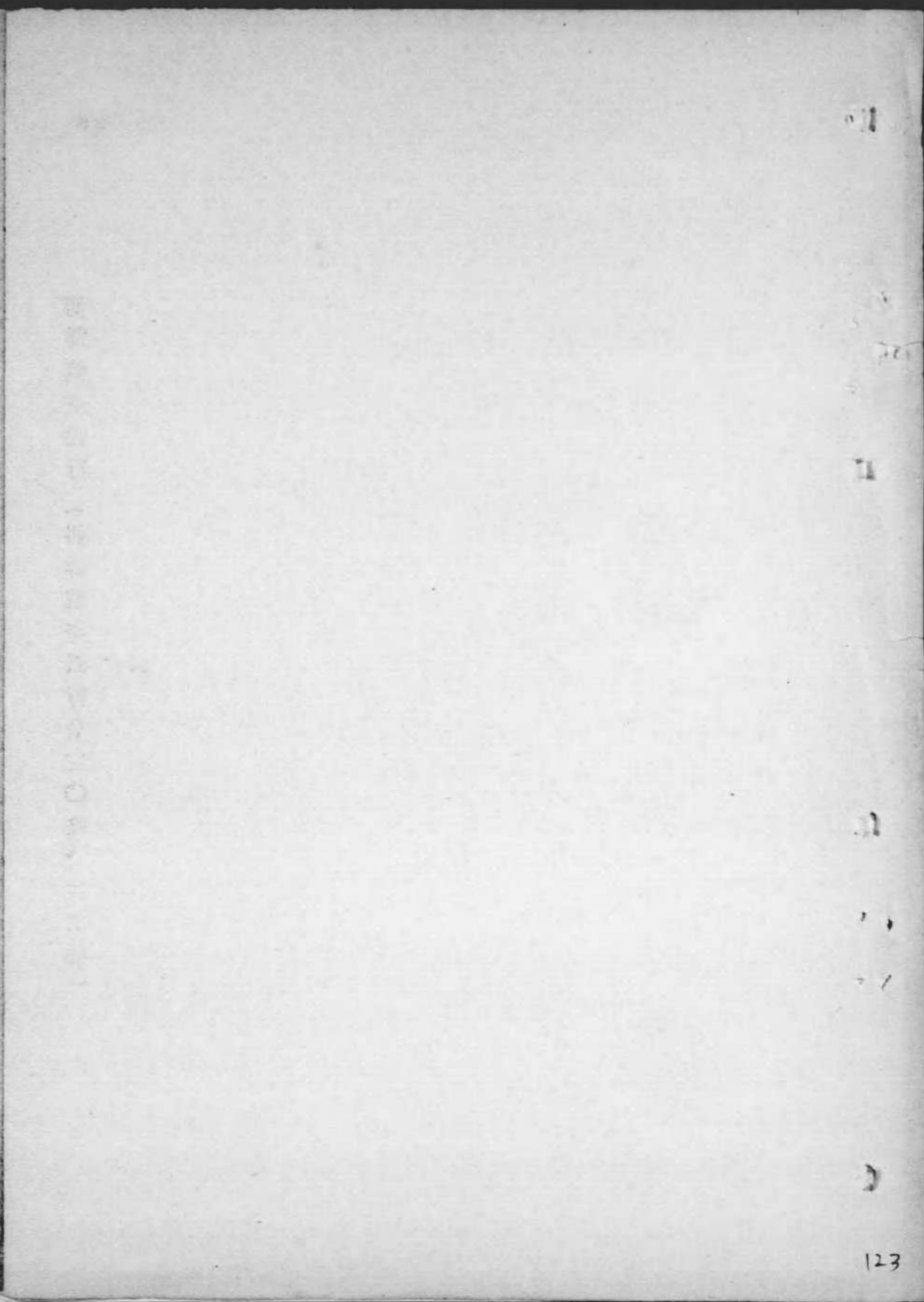
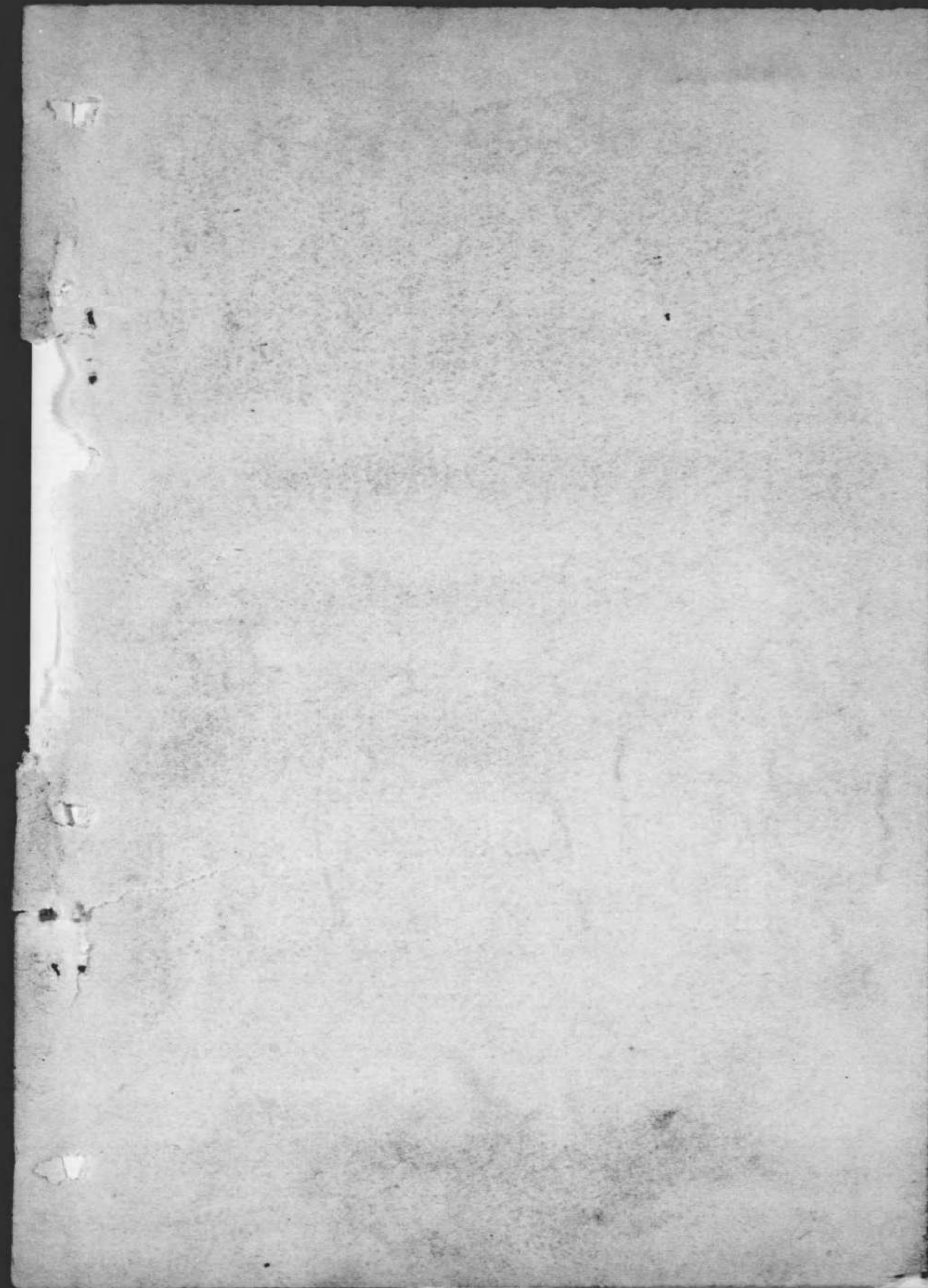
十五倍
產業組合中央金庫（產業組合中央金庫法一七條、二〇條）

日本勸業銀行（日本勸業銀行法三四條、四四條）

北海道拓殖銀行（北海道拓殖銀行法一二條、一七條）

農工銀行（農工銀行法二六條、三五條）

朝鮮殖産銀行（朝鮮殖産銀行令三〇條、三二條）



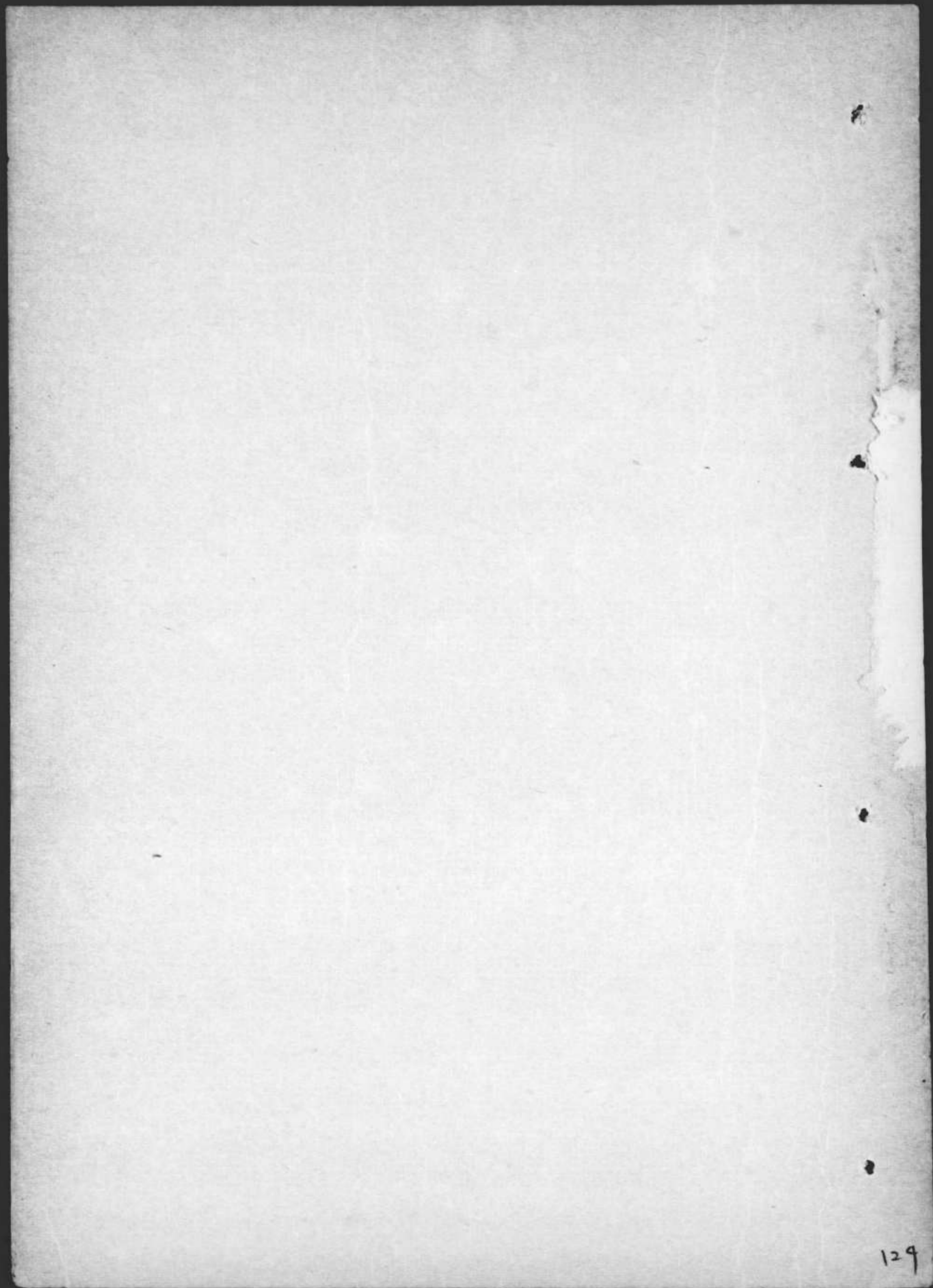
11

11

11

11

123



129

